

らちしゅんいち

# 良知駿一 活動報告

第7号



## ご挨拶

いつも大変お世話になっております。浜松市北区選出の県議会議員の良知駿一です。今シーズンの冬はここ近年で一番冷え込んだように感じます。浜松市においても何度か雪に見舞われました。夏の猛暑と冬の厳寒、多くの方が懸念されている豪雨と気候が極端化しているのでしょうか。そして厳しかった冬も終わり3月に入り暖かくなり始めました。どうぞ気温差で体調を崩さないようご自愛ください。今回のご報告は2月定例会までになります。ご一読いただければ幸いです。

## 前回(第6号)の活動報告からの議会活動

### 静岡県の予算概要

前回のご報告から12月定例会、2月臨時会、2月定例会があり、それぞれ一般会計補正予算の編成がありました。

補正月	金額	目的
12月	555億2,600万円	新型コロナウイルス感染症対策、国土強靱化の推進等
2月(臨)	162億7,200万円	医療提供体制の強化、事業者支援等
2月(定)	784億100万円	地域観光支援、新型コロナウイルス感染症対策等
【累計】	1兆4,956億2,400万円	

また、2月定例会では令和4年度一般会計当初予算についても審議されており、以下のような予算編成方針です。

金額	目的
約1兆3,643億6,500万円	新型コロナウイルス感染症対策、行政と社会全体のDXの推進、多様な人材の活躍促進、環境配慮型の農林水産業の推進等

## 予算の概要



## 事務所のご案内



〒431-1304  
静岡県浜松市北区細江町中川7172-698  
ラトゥール101

### 静岡県議会議員

## 良知駿一事務所

### 連絡先

TEL : 053-523-7400  
FAX : 053-523-7401

Mail : rachi0814@gmail.com  
URL : https://rachi-shunichi.jp/

### PROFILE

1982年 ● 8月14日生 (浜松市)  
1995年 ● 気賀小学校 卒業  
1998年 ● 細江中学校 卒業  
2001年 ● 浜松商業高等学校 情報処理科 卒業  
2005年 ● 静岡大学 情報学部情報科学科 卒業  
2007年 ● 静岡大学大学院 情報学研究科 修了  
● 浜松市内のITベンチャー企業に就職  
2010年 ● 浜松市消防団北区支団細江第4分団 入団  
2015年 ● 浜松市消防団北区支団細江第4分団 分団長就任  
2017年 ● 浜松市消防団北区支団本部 大規模災害教育隊 入隊  
2019年 ● 静岡県議会議員 初当選 (浜松市北区選出)  
得意分野: 情報通信技術・地域防災  
趣味: バドミントン・ジム通い・ギター  
音楽鑑賞 (ジャズ・山下達郎・スティービーワンダー)



## 一般質問

2/18に開会した2月定例会の一般質問で登壇しました。今回の一般質問においても、私が取り組みの中心にしている**デジタル施策**に関して取り上げました。コロナ禍において一層注目された**デジタル施策**は、静岡県においても令和4年度の県政の一本の柱となりました。そしてそれは県議会としても異論を挟む議員はおりません。しかしながら、70人弱いる議員の中で、表面上ではなく根本の部分から**デジタル施策**に取り組む議員は私以外におりません。静岡県の**デジタル施策**を、議員の立場から引っ張っていく使命感を持ち取り組んでいく所存です。しかし、デジタル施策だけというわけにも参りません。私事ではありますが昨年初子が産まれたということもあり、子育てに関する取り組み、また社会人の学び直しに関しても質問しました。

## Q・要望が良知、Aが当局

### 【ふじのくにDX推進計画について】

Q

行政のDXには、利用者の視点であるUI(ユーザーインターフェース)・UX(ユーザーエクスペリエンス)が重要である。行政はシステムが住民や他の組織から、どのように使われるかを意識してシステムを設計する必要がある。これらの観点から、県は「ふじのくにDX推進計画」において、UI・UXをどのように位置付け、どのようにDXに取り組むのか?

A

策定中の計画では「誰にも優しく、誰もが便利に、安全・安心、そして豊かに」を基本理念に掲げ、本県全体に恩恵をもたらすDXの方向性を定めている。計画中の「デジタル化の推進に必要なデバインド対策」として、利用者視点でのUI・UXの改善を挙げている。今年度、電子申請サービスをより操作しやすいものに更新した。また、来年度の県ホームページの改修に向け、見やすさや検索のしやすさの向上を図るため、トップページのデザインやサイト構成の見直しの検討を始めている。専門家・民間企業の先進事例なども参考とし、さらには、利用者となる県民の皆様の御意見も取り入れ、誰もが便利に使えるサービスの提供を常に意識したDXを推進していく。(デジタル戦略局)

※DX・UI・UXについての説明は本報告内に別途記載



## 一般質問

### Q・要望が良知、Aが当局

#### 【スクールDX推進事業について】

Q

学校現場は多忙であり、業務の削減や自動化は急務である。学校現場のDXとして、教職員－生徒間のDX、生徒－生徒間のDX、家庭－学校間のDX、学校内のDX、AIを活用した学習などがあげられる。県は、令和4年度当初予算案に7,820万円のスクールDX推進事業費をあげているが、学校現場のDXをどのような手段で進めていくのか？

A

令和4年度から導入される教科「情報Ⅰ」に向けて、クラウド上のデータベースに、生徒の学習計画や履歴、理解度などの情報を蓄積させ、AIによって効果的な学習を提案していく実証研究を行っている。この取組を加速するため、既存の成績管理システム等と、国が開発しているラーニングマネジメントシステムとの連動をはじめ、学習指導や校務、働き方の改革を一体的に進めるプラットフォームの在り方について検討を進めるため、令和4年度当初予算案にスクールDX推進事業費を盛り込んだ。情報セキュリティに十分配慮しながら、学校現場のDXを強力に推進していく。（教育委員会）

#### 【地域における家庭教育支援について】

Q

コロナ禍の中で多くの保護者が一人で悩みを抱えながら子育てを行っている現状がある。このため、子供たちが健やかに成長できるよう、社会全体で保護者の孤立を防ぐ家庭教育支援を行っていく必要があると感じている。新型コロナウイルス感染症対策により、人とのつながりに制約がかけられてしまう社会情勢を踏まえ、今後どのように家庭教育支援を進めていくのか？

A

調査により家庭のニーズや子育てを取り巻く環境変化を把握するとともに、保護者同士のつながりや学びの機会を提供し、孤立化を防ぎ、悩みや不安の軽減を図る取組を進めている。具体的には既存の事業の見直し・オンライン化の他、新たに「パパママ寺子屋」事業として、市町の保健・福祉機関や民生・児童委員などとの連携を図り、公民館や福祉施設、企業など、「地域」の中で、保護者が共に学び、つながりを感じられる場づくりを進めていく。今後も社会総がかりで保護者に寄り添い、様々な学びの機会を届ける家庭教育支援をより一層推進していく。（教育委員会）

#### その他の質問

- 県が取得した3次元点群データの更新(交通基盤部)
- リカレント教育の推進について(スポーツ・文化観光部)
- 天竜浜名湖鉄道の利用促進について(交通基盤部)

## 山間部における消防水利

空気が乾燥する冬場は火災が多くなる傾向にあります。火災が起きると消防署隊や団は消火に利用する水(消防水利)を確保します。消防水利には防火水槽や河川などを利用しますが、山間部においてはこのような消防水利が面積に対して不足します。今年に入り、北区滝沢町内において火災がありました。滝沢町は皆様ご存じの通り山間部です。この火災においても消防水利が不足したため、県が関係する団体が所有する施設の水槽を臨時に利用して消火に当たりました。山間部の円滑な消火活動のため、この団体に今後の協力を依頼し調整しているところです。



## デジタル社会で重要となる「DX・UI・UX」

先程の一般質問の項目でも触れた「DX・UI・UX」という言葉を、最近よく耳にしている方もいらっしゃるかと思います。

DXとはデジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)の略で、単に表面上だけ電子化するデジタル化の更に進んだ概念です。これは、デジタルによってビジネスモデルや業務プロセスなどを**変革**するという概念です。例えば、引っ越しの際に、様々な書類を役所ではなく最寄りのコンビニ等で取得できるようになるのがデジタル化、オンラインで転出手続きをするとそれに連なる公共料金などの民間手続きも含めて一度にまとめてできるようになるのがDX、といった違いです。

そしてUIとはユーザーインターフェース(User Interface)、UXとはユーザーエクスペリエンス(User Experience)の略です。

UIはユーザーとコンピューターの境の操作機器(マウスなど)や操作方法(Webサイトのデザイン設計など)のことです。UXはユーザーが得られた体験のことです。

優れたUIは高評価のUXとなります。つまり、Webサイトを通じて何らかの行政手続きを行う際に、そのサイトがどの順序でどこをクリックし何を入力すればよいか一目でわかる設計となっていれば、そのサイトは高い評価となり多くの人に使われることにつながります。

これまでのコンピューターの進化はUIの改善とともにあったと言っても過言ではありません。これからの社会は人間とコンピューターがより深く共存していくこととなり、これらの概念は重要なものとなっていくことでしょう。



## お知らせ

ラジオで県政情報を発信しています。

番組名： **イブニングサテライト** 放送局： **FM Haro! (76.1MHz)**  
 放送枠： **土曜 夕方 5:00 ~ 5:30** 担当： **4/30, 5/28, 7/23, 9/24, 11/26**